
「膀胱全摘・回腸導管造設術における当院 ERAS に基づく栄養管理に関する

後方視的観察研究」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2026 年 3 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日の期間に埼玉医科大学総合医療センターで膀胱全摘術・回腸導管造設術を施行され、退院された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

手術後早期回復プログラム（ERAS）が近年広く導入され、その有用性が報告されています。本研究では、当院で膀胱全摘・回腸導管造設術を施行された患者さんを対象、手術後早期回復プログラムに基づく栄養管理の有用性を検討することが目的です

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 2 月 13 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 9 月 30 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

食事摂取量、栄養補給量、身体測定値、採血データ、手術後発症した合併症の記録、年齢、性別
※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である三浦 唯花が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

膀胱全摘術・回腸導管造設術を施行された患者さんの検査データおよび栄養補給量の記録、診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 栄養部 三浦 唯花（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵小児外科 小高 明雄
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 栄養部 元島 洋子
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 栄養部 横田 稚子
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 栄養部 矢澤 和恵

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 栄養部 三浦 唯花

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3457（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：「膀胱全摘・回腸導管造設術における当院 ERAS に基づく栄養管理に関する

後方視的観察研究」

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 栄養部 三浦 唯花